

大森東地区管内人口

人口	男	10,349人
	女	9,196人
	計	19,545人
世帯数 10,915世帯		

(令和7年3月1日現在)

おもしろ地域情報

いっつわ

手をつなぐ5自治会

- 大森東自治会 (平林 敏夫 会長)
- 大森東四丁目自治会 (伊藤 音嗣 会長)
- 川端自治会 (江藤 豊 会長)
- 大森南自治会 (平林 茂 会長)
- 森ヶ崎自治会 (野口 多加志 会長)

発行：地域力推進大森東地区委員会

編集：地域情報紙「いっつわ」編集委員会

【編集委員長】須山 芳明 (大森東四丁目自治会) 【副編集委員長】野口 弘子 (大森南自治会) / 江原 良子 (森ヶ崎自治会)

【編集委員】田中 文雄 (大森東自治会) / 野村 勝恵 (大森東自治会) / 福本 享子 (川端自治会) / 平林 典明 (川端自治会) / 魚住 みさ子 (大森南自治会) / 安藤 澄枝 (森ヶ崎自治会) / 伊藤 音嗣 (大森東四丁目自治会) 【事務局】赤堀 匠 (大森東特別出張所)

大森びと

Vol.7

トークテーマ

『昔の大森びと』

大森東四丁目自治会 伊藤 健一さん

一連の大森びとが終わり、昔の海苔作りの事を記事に残してもらおうということ、原稿をたのまれました。当時だったら、この二月・三月の繁忙期に「そんなことやつてらんねえよ」と断るところですが、今回は海苔取りが終わって六十近く、知っていることを皆さんに伝えたいと思います。了解しました。

我が家では、冬場は四人の手に手伝ってもらっていました。山形からの出稼ぎの方たちです。朝は二時に起き、一日平均六千枚の海苔付けを五六人で四・五時間かけて終わらせます。干すのは任せて我々は海苔取りにいきました。網は一枚二十五間(約四十五m)の物を二百五十〜三百枚張りました。これを十一月中頃から三月中ごろまで休みなくやっています。

現：貴船掘公園 (資料提供：大田区立郷土博物館)

海苔の魅力再発見

『大森発海苔レシピ』

海苔のふるさと大森

豊かな海苔の香りが食卓を彩る、東京湾・大森。かつて海苔養殖発祥の地として栄えたこの場所で、海苔の新たな魅力を発信するプロジェクトが、中富小学校の5年生によって行われています。

大田区独自の教科「おおたの未来づくり」は、こどもたちが地域の特徴を生かして「ものづくり」や「地域創生」に挑戦する学習です。中富小学校は、この教科の研究実践校として、先進的な取り組みを進めています。

今回のプロジェクトのテーマは、「海苔の魅力再発見『大森発海苔レシピ』」。海苔のふるさと大森。「海苔をもっと身近に感じてほしい」「大森が海苔のふるさとであることを次世代に伝えたい」、そんな想いから、5年生のこどもたちの学習が始まりました。

こどもたちはまず、給食の時間に様々な料理と海苔を組み合わせて試食し、海苔と合う料理を探索しました。「カレーに海苔って意外と合う」「ラーメンに海苔は定番だよ」など、活発な意見交換を通して、海苔の可能性を広げていきました。

今回のプロジェクトには、海苔カレーを開発した飲食店の「昼飯屋」さんが「授業パートナー」として参加してくださいました。こどもたちのアイデアにアドバイスや価値付けをしてい

さて、皆さんがこれを読んでいる四月ころはというと、網をはずし終え、竹を抜き、干さなければなりません。二千本位あったでしょうか？

また、海苔干し場も片付けて畑作りもしなければなりません。お米・肉・魚は買いますが、後は自給自足の様な生活が始まります。畑では、菜っ葉・茄子・きゅうり・トマト・とうもろこし：と様々な野菜を作りました。売り物ではありません。家族でたべるものです。沢山採れば近所の人や親戚に配ります。反対にそちらから頂いたきます。物々交換の様なものなんです。

話をもどします。外した網は一度乾かしてから来年のためによく洗い(足でふみつけるように)また干します。その後で破れた所の補修をします。我が家では通年で働いてくれた人は一人だけで、他の人は雪が解ける頃には帰ってしまいます。今日やらなければいけないという仕事ではないのですが、やるのが沢山ありました。梓干の修理、海苔簾作り、薪割り、その他。

段取りのいい家では夏場は出稼ぎに行っていました。どこでしょう？「氷工場」です。あちらは、夏が忙しいのです。

色々している間に九月・十月になり、海苔取り場の抽選があり、その年の作業場が決まるのです。すると網への海苔の種付から始まり、竹を立て、網を張り海苔の成長を待ちます。そしてまた、忙しい毎日が始まるのです。文字数にも制限があり、とりとめのないことばかり書きましたが、ついにないだの昔のことです。

ただき、レシピの完成度を高めるサポートをしていただきました。試行錯誤を重ね、5つのオリジナル海苔レシピが完成しました。これらのレシピは、実際に学校給食にも提供され、全校児童で味わいました。こどもたちは、自分たちが開発したレシピをみんなが美味しく食べる姿を見て、大きな達成感を感じていました。

今回のプロジェクトを通して、こどもたちは海苔の魅力を再発見しただけでなく、大森という地域の魅力、そして地域の未来について深く考えることができました。

「自分たちが作ったレシピで、もっとたくさんの人に大森の海苔を知ってほしい。」こどもたちの熱い想いは、きっと地域を元気にすると確信しています。

ご家庭でもぜひ、大森の海苔を使った美味しいレシピに挑戦してみてください。

受賞おめでとうございます

令和七年大森消防団始式表彰受賞者および感謝状贈呈者

【消防総監賞 優良表彰】井上 颯 (森ヶ崎自治会)

【消防総監賞 優良表彰】井上 颯 (森ヶ崎自治会)

【第二消防方面本部長賞 防災訓練指導功労】井上 颯 (森ヶ崎自治会)

【市民消防隊 十年】山田 誠 (大森東自治会)

【市民消防隊 十年】松本 光広 (大森南自治会)

【市民消防隊 二十年】小林 セツ子 (森ヶ崎自治会)

【市民消防隊 二十年】天野 恵子 (森ヶ崎自治会)

令和六年度大田区政功労者表彰

【保護司】近藤 佳子

【自治会・町会 十年以上在職者】須山 芳明 (大森東四丁目自治会)

【スポーツ推進委員】熊川 昌枝 (川端自治会)

【社会事業奉仕者】サロンひまわり (敬称略)

大森第四小学校 本校 八十八名

みらい学園初等部 六名

中富小学校 二十三名

大森第一中学校 七十八名

大森東中学校 百十一名

のびーるのりたまチーズ

オリジナルキャラクター

たまごやきの中にチーズと海苔のつくねが入っています。おなかのいい内に入ると、チーズが溶けておいしいです。

ネギあとがけ海苔の味噌汁

オリジナルキャラクター

ネギと海苔の入った味噌汁です。ニンジンが入っているの、いちど味わってください。

海苔のチーズポトフ

オリジナルキャラクター

カレーポトフに海苔を入れてスープの味を変えておいしく。

アサリとりのりの味噌汁

オリジナルキャラクター

味噌汁の中に海苔・あさりを入れておいしく。味の決め手はあさりです。

ちぐのりチー

オリジナルキャラクター

中にキムチ・しょうが・カレー・チーズが入っています。カルシウムやタンパク質をふくんでいます。海苔が入っているの、おいしいです。

卒業おめでとうございます

大森第四小学校 本校 八十八名

みらい学園初等部 六名

中富小学校 二十三名

大森第一中学校 七十八名

大森東中学校 百十一名

地域の行事

★大田区子どもガーデンパーティー 平和島会場 四月二十七日(日) 午前十時〜午後三時

★貴船神社例大祭 五月十七日(土)・十八日(日)

★三輪厳島神社(弁天神社)例祭 五月二十四日(土)・二十五日(日)

★浦守稲荷神社例大祭 六月七日(土)・八日(日) (予定)

編集後記

今月号は温かいこども食堂のお話、また中富小学校の海苔の新しいレシピのお話(昔から当時はお酢が入らない海苔巻)が面白いです。また、当社の会社の紹介で、電車のポイント切り替えの装置を造られている会社のお話がありました。私も東海道線・京浜急行線を利用して勤めておりましたので、誠にありがたく存じます。皆様にはいろいろなこの地域の情報、昔のお話などをお伺い出来ればと存じます。

編集委員一同



大森東 林総事(株)

全国の鉄道の安全を守る信号を製造しています。

弊社は大森東地区で創業開始し44年になります。鉄道信号に関係する製品を製造しています。日本にも数社しかない珍しい会社です。大森東地区は鍛造、鋳物、機械加工、又、プレス加工、シボリ加工、塗装、梱包、輸送等々様々な会社があります。その皆さんの知恵と労力で協力して頂き長く続けていくことが出来ました。実に温かい思いやりのある地域です。

現在の鉄道の列車は1分、1秒を争うダイヤを求められております。その対応できることが出来たことは地域の方々の協力があって出来たことです。鉄道の列車には自動車の様なハンドルはありません、よって鉄道のレールにより進行方向を左右します。その左右する転換装置の伝達部分を製造しています。だからとても神経を使う業種と思っております。納入日と製品精度・恒久的な耐久性に関して決して間違えることは許されません。それでも地域の温かい思いやりで乗り切ってくることが出来ました。

思いやりのある心の温かい方々ばかりです。夜残業で遅くにお風呂屋さんに行くとするに就業時間は過ぎ

ていても見かけると「入っていいよ」と言ってくださいました。「ゆっくり入りな」と言って帰りに「まだ、食事はこれからだろう」と豆腐と納豆を持たせてくれたりと人情味の有る地域です。又創業当初は加工機械が不足すると貸して上げると持ってきてくださいました。「郵便受け」が無いと言えば差し上げますと言ってくださいました。荷物の積み下ろしで困っていると率先して手伝ってくださいました。又仕事がないと言うとこの仕事をあげると言ってくださいました。この様な方々の支えでこれまで操業を続けられました。

地域の皆さんの支えがあり一昨年天皇陛下より叙勲の栄誉に拝しました。「旭日単光章」実に光栄な事でした。宮内庁の方からこれからは地域の皆さんに貢献できるよう努力してくださいとの事でした。

朝夕地域の皆さんにお会いすると気軽に声を掛けしていただき気さくな方ばかりです。この地域で操業して良かったと実感しているところです。

今後引き続き地域の皆さんと仕事と繋がりが継続できることを願って止みません。



レールの尖った部分が左右に転換し、列車の進行方向を左右します。



一日に500回から700回の転換操作が繰り返し行われます。



一か月に2万回から2万5000回繰り返し行われます。鉄道安全輸送の心臓部です。



年間で250万回繰り返されます。鉄道安全輸送の心臓部です。



市原工場 千葉県市原市うのいど



本社・工場
東京都大田区大森東

林総事株式会社
取締役 会長 林 源

こども食堂 moi!

代表 岡野 由実 moi!

- ①朝ごはんの提供 毎週水曜日、休みあり
- ②キッチンカーイベント 不定期開催



moi! スタッフ

午前8:45。「あれ?こんな時間に小学生?」そう思ったのが、こども食堂を立ち上げようと思った小さなきっかけでした。

すでに学校が始まっている時間にランドセルを背負った子どもをたびたび見かけ、「学校に遅刻しているのかな?」「朝起きられないのかな?」「朝ごはんは食べているのかな?」「学校に行くのが少しつらいのかな?」と想像が膨らみました。そのうちに世界にはコロナが蔓延し、人と人との関わりが突然断ち切られてしまいました。

学校生活も様変わり。子どもたちの机はシールドで囲まれ、給食もソーシャルディスタンスを保って黙食。友達と机をくっつけてワイワイと食事をするのがなくなりました。その時は必要な対応であると理解していても、やっぱりさびしい。

食事はただ栄養を摂取するだけのものではなく、家族と、時には友人と、何気ない会話をしながら楽しく食卓を囲むことでよりおいしく感じられ食も進む。「楽しい」は「最高のスパイス!!」

「朝ごはんをみんなで一緒に食べたら楽しいよね。楽しい気持ちのまま教室に行けたら、楽しく一日を過ごす小さなきっかけになるのかな。学校に楽しく通うきっかけになればいいな」。その時、「学校で朝ごはん」にこだわった、こども食堂の立ち上げを決めました。

2024年5月から始まった「0時間目あさごはん!」は当初50名ほどだった参加者が徐々に増え、2025年1月には120名を超える申し込みがありました。

毎月のメニューをイラストにしたランチョンマットを作成し、裏面には子どもたちにアンケートと好きなお絵描きしてもらっています。moi!のオリジナルキャラク



朝ごはん



お正月あそび



ハロウィン



ハロウィン



学習支援

ター「moi!くん」を描いてくれる子どもたくさんいて、親しみを持って受け入れてくれているなと感じています。

スタッフは大四小や近隣小学校の保護者、大田区社会福祉協議会や地域包括支援センター大森東のご協力により大学生から高齢者の方まで幅広い年代の方々がボランティアで参加してくれています。皆さん、こども食堂の活動をとて楽しみにしてくれていることが嬉しいのです。

また、現在は調理場のない環境のため、地域の商店で購入した商品や協賛企業から提供いただいた商品でまかなっています。スタッフの皆さんもそれぞれ仕事や家事、育児など時間を確保することが難しいため、調理をせずに提供できる今のスタイルがとても合理的でわたしたちには合っていると思っています。長く続けるためには無理のない範囲で活動することが大事。合言葉は「できる時に、できる人が、できるだけ」。

食事を終えた子どもたちからは「行ってきまーす!」の声、それに応える大人たちの「行ってらっしゃーい!」の明るい声が響く温かな空間になっています。その他、月に1回、「くっつけ亭」さんにご協力いただきキッチンカーでの食事提供と遊びと学びのイベントを開催しています。

ファミニュー大森南、テクノFRONT森ヶ崎など、近隣の施設を無償でお借りし開催しています。

大森東地区自治会連合会、民生委員、青少年対策委員の皆様や大森南図書館、大森第四小学校PTA、わかばの会にもご協力いただき、夏休みにはお化け屋敷を作ったり、長期休暇には学習支援と居場所の提供なども行っています。

今後は、季節の行事に合わせたイベントの開催やおもちゃや学用品などの「おさがりの輪」をひろげる活動もしていきたいと考えています。



クリスマス